

事業評価書

補助事業名	宜野座村地域福祉センター駐車場屋根増設工事					
補助事業者名	宜野座村長					
実施場所	宜野座村字惣慶地内					
補助事業の成果の目標	<p>当該施設は平成3年に建築され、地域における福祉活動の拠点として多くの村民に活用され、利用者は送迎バス等での通所を行っているが、施設正面の駐車場に屋根がないため、雨天時の車両への昇降の際に支障をきたしている状況である。</p> <p>このことから、本事業により、駐車場から建物まで屋根を設置することで、村民の安定的な健康増進・福祉活動の展開に寄与することを目標とする。</p>					
補助事業の内容	屋根増設工事（鉄骨造 平屋建） A=110.0㎡					
補助事業の始期及び終期	令和5年度					
事業費及び交付金額		令和5年度				計
		円	円	円	円	円
	事業費	23,089,000				23,089,000
	交付金額	22,000,000				22,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことで、駐車場から建物まで屋根を増設し、村民の安定的な健康増進・福祉活動の展開に寄与することができた。</p> <p>また、利用者や施設職員へのアンケート調査を行い、雨天時の送迎車乗り降りの利便性について「雨に濡れなくなり、滑って転倒リスクも減った」との回答を得ており、成果の目標が達成できたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業の整備が、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法（防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示も含む）により、地域住民へ周知を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 村広報誌（R6年1月号）及び村ホームページへ掲載済。 2) 工事看板へ記載済。 					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も当施設の維持管理を適切に行い、村民の安定的な健康増進・福祉活動を展開できるよう環境の保全を図る。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	城原地区排水管布設替工事					
補 助 事 業 者 名	宜野座村長					
実 施 場 所	宜野座村字惣慶地内					
補助事業の成果の目標	<p>当該排水路は平成5年度に実施した公園整備事業に先駆け整備されたもので、普段近隣公園として地域住民に利用されているが、整備から30年近く経過し、排水管の老朽化による漏水の影響で大規模な陥没等があり、地域住民の生活環境に支障をきたしている状況である。</p> <p>本事業で当該排水路を整備することにより、生活環境の向上を図り地域住民が安心安全に利用できる環境を整備する。</p>					
補 助 事 業 の 内 容	排水管布設替工事 管渠型埋設管 L=205.8m					
補助事業の始期及び終期	令和4年度～令和5年度					
事業費及び交付金額		令和4年度	令和5年度			計
	事業費	円 27,162,000	円 33,501,000	円	円	円 60,663,000
	交付金額	24,801,000	30,269,000			55,070,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>本事業で排水路の施工時に品質管理や出来形管理の段階確認を行い、整備後においても沈下や陥没等が生じていないか定期的に確認を実施したところ、漏水が改善されたことから、本事業により生活環境の向上を図り地域住民が安心安全に利用できる環境が整えられたと評価できる。</p>					
	<p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <p>本事業の整備が、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示も含む)により、地域住民へ周知を行った。</p> <p>1) 村広報誌(R6年3月号)及び村ホームページへ掲載済。</p> <p>2) 工事看板へ記載済。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切に排水路の管理を行う。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	宜野座村立保育所車両及び訪問用福祉車両購入				
補 助 事 業 者 名	宜野座村長				
実 施 場 所	宜野座村字惣慶・宜野座地内				
補助事業の成果の目標	<p>村立保育所車両は、園外活動を実施する際に体調不良やケガをした園児を施設や医療機関等へ送迎するために使用しているが、購入後18年が経ち、経年劣化による傷み（ブレーキの不具合、異音等）が発生し、保育活動に支障をきたしている。</p> <p>訪問用福祉車両は、村民宅への訪問及び施設・医療機関等への送迎を目的としているが、購入後23年が経ち、経年劣化による傷み等（ドア・ブレーキ・バッテリー関連の不具合）により使用できず、訪問業務に支障をきたしている。</p> <p>本事業により、車両を購入することで、安全な園外活動の実施及び円滑な訪問・送迎業務が可能となり、安定的な保育・福祉活動の促進を図る。</p>				
補 助 事 業 の 内 容	物品購入 宜野座村立保育所車両 1台、訪問用福祉車両 1台				
補助事業の始期及び終期	令和5年度				
事業費及び交付金額		令和5年度			計
	事業費	円 5,400,000	円	円	円 5,400,000
	交付金額	円 4,860,000	円	円	円 4,860,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業において、経年劣化した宜野座村立保育所車両及び訪問用福祉車両を整備したことにより、安全な園外活動の実施及び円滑な訪問・送迎業務が可能となった。事業完了後約1年間の利用回数は両車両合計503回、修繕回数は0回であったため、安定的な保育・福祉活動の促進が図られたと評価できる。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 1) 村ホームページ（2024.1.15）へ掲載済 2) 村広報誌（令和6年(2024)2月号）へ掲載済 3) 車両へ調整交付金事業である旨及びエンブレムの記載済（防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレム）</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、車両点検など維持管理を適正に行っていく				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	宜野座村集落排水施設非常用発電機購入						
補助事業者名	宜野座村長						
実施場所	宜野座村漢那地内						
補助事業の成果の目標	宜野座村内では、集落排水管路から自然流下で排水できない地域は中継ポンプにより汚水を圧送し、各クリーンセンターへ排水される。台風等による停電時でも汚水の圧送は必要不可欠であることから、非常用発電機を設置している。当該発電機は老朽化により、不具合・故障等を頻繁に繰り返している状況であるため、本事業を活用し、既存の発電機を更新することにより、自然災害等による停電が発生した場合でも、安定的にポンプ施設の機能を維持する事が可能となり、汚水の流出防止など環境保全を図ることができる。						
補助事業の内容	物品購入 非常用発電機 2基						
補助事業の始期及び終期	令和5年度						
事業費及び交付金額		令和5年度					計
	事業費	円 7,150,000	円	円	円	円	円 7,150,000
	交付金額	7,150,000					7,150,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>本事業において、非常用発電機を更新したことで、自然災害等による停電が発生した場合でも、安定的にポンプ施設の機能を維持する事が可能となり、汚水の流出防止など環境保全を図ることができた。また、事業完了後に試運転を行い、稼働状況が良好であることを確認できたため、成果の目標が達成できたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 村ホームページへ掲載済 2) 村広報誌(令和6年12月号)へ掲載済 3) 購入備品に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示も含む。)である旨をシール貼付済 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、非常用発電機の点検など維持管理を適正に行っていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	宜野座中学校楽器備品購入						
補助事業者名	宜野座村長						
実施場所	宜野座村字惣慶地内						
補助事業の成果の目標	<p>現在、宜野座中学校で所有している楽器は、新しいもので平成16年購入と約20年が経過し、古いものでは昭和48年購入と約50年経過しており、使用できない楽器や修繕を繰り返し行っているものがほとんどである。</p> <p>また、楽器の種類や数量も少なく、授業に支障をきたしている現状である。</p> <p>本事業により、新たな楽器を供給することで、様々な楽器に触れる機会が増え、生徒の音楽活動の充実及び技術の向上を図ります。</p>						
補助事業の内容	物品購入 打楽器等 一式						
補助事業の始期及び終期	令和5年度						
事業費及び交付金額		令和5年度					計
	事業費	円 6,521,900	円	円	円	円	円 6,521,900
	交付金額	5,726,000					5,726,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業において、新たな楽器を整備したことで、今後の音楽活動でより一層の充実及び技術の向上を図ることができた旨を、生徒へのアンケート調査を通して確認し、成果の目標が達成できたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 1) 村ホームページ(2024.5.13)へ掲載済 2) 村広報誌(令和6年(2024)5月号)へ掲載済 3) 物品へ調整交付金事業である旨及びエンブレムの記載済(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレム)</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、楽器の点検など維持管理を適正に行っていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	宜野座村学校給食事業						
補助事業者名	宜野座村長						
実施場所	宜野座村内						
補助事業の成果の目標	幼稚園及び義務教育諸学校に在籍する園児、児童及び生徒の心身の健全な発育及び保護者の経済的負担軽減を図ることにより、子育て支援に寄与する。						
補助事業の内容	学校給食費の無償化						
補助事業の始期及び終期	令和2年度から令和12年度まで						
事業費及び交付金額			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
	基金 造成 成額	交付金額	円	円	円	円	円
		市町村費等	0	0	0	0	0
		運用益	0	0	0	0	0
		計	45,735,000	29,516,000	17,500,000	21,864,000	114,615,000
	基金処分額		0	24,617,590	25,411,710	26,682,170	76,711,470
基金残額		45,735,000	50,633,410	42,721,700	37,903,530	37,903,530	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を継続して実施することで、幼稚園及び義務教育諸学校に在籍する園児、児童及び生徒の心身の健全な発育及び保護者の経済的負担軽減を図ることにより、子育て支援に寄与できた。 また、小中学校長へのアンケート調査を行い、前年度に続き「今後も継続を望む」の回答を得ている。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 1) 村ホームページへ掲載済 2) 村広報誌（R5年5月号）へ掲載済 3) 新入園児及び新入学児童生徒に対し周知文書の配布済</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も継続して事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						